

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について（公認の部）

本大会は、2026 年度日本陸上競技連盟規則、ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 札幌市円山競技場使用上の注意

- 1) 当該種目競技者以外は、競技エリアへの立ち入りを禁止する。
- 2) ウォーミングアップ場所については、本競技場にサブトラックがないため、第 2 コーナー水豪横・バックストレートを使用してよい。ただし、走方向については一方通行とし、水豪横では 200m スタート方面へ、バックストレートは順走を順守し、選手や引率のコーチの皆さんには走る際の安全確認を取ることを義務付ける。なお、ウォーミングアップエリアはコーンポストで区域分を行う。
- 3) 開門時間は、**7:00**とする。
- 4) 競技開始前におけるホームストレートのトラックの練習は、**9:15（競技開始の 15 分前）**までとする。

3. 点呼・棄権について（公認の部）

- 1) 競技者はタイムテーブルに記載された**現地集合時間**に、各競技開始場所に直接集合すること。
- 2) 指定された時間に競技開始場所にいなかった競技者は当該競技種目を棄権したものとみなし処理する。

4. アスリートビブスについて（公認の部・非公認の部）

- 1) 競技者は、各自のアスリートランキングにエントリー記入したビブスを使用する。2026 年度のものを使用すること。
- 2) 腰ナンバー標識は本競技場で用意する。100m 出場者はスタート付近スタンド下で受け取り、右側の腰につける。レース後、直ちに補助員が回収する。

5. シューズについて（公認の部）

- 1) 各競技者は日本陸上競技連盟規則 **TR5** に基づいたシューズを着用すること。
日本陸上競技連盟陸上競技規則よりトラック種目においては靴底の厚さは **20 mm**以下である。これ以上の厚さのシューズで出走することはできず、仮に基準より厚い靴で競技を行った場合は競技規則に基づいて失格となるので注意すること。

6. 競技の番組編成について（公認の部）

- 1) トラック競技のレーン順はアスリートランキング記載の順による。
- 2) 二次レースまたは三次（決勝）レースに出場するためには、前次のレースまたは前ラウンドに出場していることを条件とする。
- 3) 二次、三次（決勝）レースの番組編成は、その前のレースの記録順で優れた選手から後方の組から編成するものとする。
- 4) アスリートランキングのシステム上、一次レースは「予選」、二次レースは「準決勝」、三次レースは「決勝」という表記となっているが、エントリー者全て棄権することがなければ、次レースへ進出する形となっている。

7. 30m 走, 50m 走, 100m 走について【非公認の部】

- 1) レース 20 分前までにスタート付近に集合する。

- 2) スターティングブロックは小学生以下および未経験者は競技進行時間を考慮して使用しないことを希望する。その場合、スタート時の構えは任意とする。
- 3) レースのゴール後、腰ゼッケンを係に手渡すこと。その後、記録結果は指定の場所に貼り出す。JTB から発行される記録証についてはメールにて受け取ること。

8. 用器具について（公認の部）

- 1) 競技に使用するスターティングブロックは、すべて主催者側が用意したものを使わなければならない。

9. 抗議について（公認の部）

- 1) 競技進行中に起きた競技者の行為、または競技成績に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表されてから 30 分以内（同一日に次のラウンドが行われる競技では、その結果が正式に発表されてから 15 分以内）に、総務員を通して口頭で審判長になされなければならない。時間以内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものとみなされる。
- 2) 抗議に対して審判長は速やかに裁定する。その裁定を不服とし、さらに抗議する場合は抗議申立書と預託金 20,000 円を添えて上訴する。この預託金は抗議が受け入れられなかった場合は没収される。
- 3) この間の事務処理は総務員が行い、抗議者は大会本部で待機する。

9. 撮影について

- 1) 競技者（選手）がカメラで撮影されることによって嫌悪や不安に感じられる場所からの撮影は禁止する。また、撮影をしている場所によっては不審と判断された場合、競技役員が注意・指導、撮影内容の確認をする場合がある。
- 2) 参加者による撮影に関しては、できる限り所属団体（学校・クラブチーム）がわかる服装をしていることを願う。

10. その他

- 1) 競技者の衣類の管理は、すべて各自で行うこと。役員・補助員による運搬は行わない。
- 2) 盗難・紛失について、主催者で受領した物品については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない。なお、主催者で受領した物品等は大会本部で管理する。
- 3) 競技中に発生した傷害、疾病についての応急処置は主催者側で行うがそれ以降の責任は負わない。
- 4) 競技場の駐車場は台数が限られているため、競技役員、出場校、チームまたは個人の出場者の駐車を認める。その際、駐車場係がチェックを行う。万が一、競技場の駐車場が満車の際は近くの有料駐車場を利用すること。競技役員を除き、その際の駐車料金の一切を主催者で負担しない。
- 5) 大会期間中に出了ゴミは、必ず各自で持ち帰ること。
- 6) 不審者・不審物等を発見したら、大会本部まで連絡すること。
- 7) その他、不明な点は大会本部（総務）まで問い合わせること。